

YOKOHAMA SOEI 2026



JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE

横浜創英中学・高等学校

YOKOHAMA SOEI

3 Competencies and 9 Skills

Autonomy

Self-direction

Metacognition

Self-discipline

Dialogue

Empathy

Public Relations

Collaboration

Creation

Scientific Literacy

Critical Thinking

Information
Literacy

*Grow today.
Shape the future.*

未来を創るのは、 誰かではなく、自分だ。

日本は今、大きな転換期を迎えている。
デジタル環境の進化、環境問題への対応、
国際社会での新たな立ち位置――。
社会はますます複雑化し、
新たな課題が次々と生まれている。

こうした変化の中で求められるのは、
ただ流れに身を任せるのではなく、
自ら考え、行動し、未来を切り拓く力だ。

それなら、横浜創英から始めよう。

学びとは、単に知識を得ることではない。
自ら目標を設定し、方法を選び、
実践することで成長するものだ。
だからこそ、私たちは、生徒に一方的に
知識を与えるのではなく、
「学びたい」という意志を支え、
学びをデザインする力を育てる場を創る。

クラスやコース、学年さらには
学校という枠を越え、
学びの場は、教室の外へと広がる。
興味のあることに自ら飛び込み、
未来につながる経験を積む。
その挑戦を、私たちは全力でサポートする。

あらゆる問題の解決の鍵が
教育にあるのなら、
私たちが変えていく。

学校に行くのは何のためか。
人はなぜ学ぶのか。

あなたはどうか考える？
そして、あなたはどうかしたい？

INDEX

- 03 自分の「問い」を見つけ、深める、
横浜創英の6年間
- 05 創英がはじめたこと #01
主体的に学ぶ授業
- 07 創英がはじめたこと #02
生徒の自律的な学校生活を支援する
- 09 創英がはじめたこと #03
もう、「やらされる」学びは終わりにしよう
- 11 創英がはじめたこと #04
自分で決めるカリキュラム
- 13 創英がはじめたこと #05
社会とつながる高大連携
- 15 創英の探究活動
- 17 外部との連携
- 19 コンピテンシーベースの研修
- 21 企画型研修旅行・選択型旅行
- 23 生徒がつくる学校行事
- 25 生徒が主役の部活動
- 26 生徒が決める生徒会・委員会活動

自分の「問い」を見つけ、深める、 横浜創英の6年間

横浜創英には中高一貫のサイエンスコース・グローバルコースと、高校入学生向けの特進フロンティアコースがあります。それぞれのコースの特徴は、答えのない「問い」に対する探究学習の方法にあります。どのコースも目指す姿は「より良い社会を創っていく当事者になる」こと。この当事者意識を育てるために、3つのコンピテンシーと、それに紐づく9つのスキルを設定し、社会生活で生き抜くことができる力を身につけます。スクールフラワーのフリージアのように生徒一人ひとりの可能性を開花させるカリキュラムです。

YOKOHAMA SOEI 3Competencies and 9Skills

自律 Autonomy

- ①PDCA
Self-direction
- ②メタ認知能力
Metacognition
- ③セルフコントロール
Self-discipline

対話 Dialogue

- ④エンパシー
Empathy
- ⑤パブリックリレーションズ
Public Relations
- ⑥コラボレーション
Collaboration

創造 Creation

- ⑦サイエンスリテラシー
Scientific Literacy
- ⑧クリティカルシンキング
Critical Thinking
- ⑨情報リテラシー
Information Literacy

科学的思考で社会に貢献する

SCIENCE サイエンス コース

探究学習のスタイル：問題発見解決型

世界的視野で実践的なスキルを身につける

GLOBAL グローバル コース

探究学習のスタイル：課題設定解決型

未来を創る当事者に成長する FRONTIER 特進フロンティア コース

探究学習のスタイル：対話創造解決型

『個人と社会のWell-being』 を実現する世界へ

中学カリキュラム
について



高校カリキュラム
について



高校全体の目標

自分を高め、仲間と協力し、
より良い社会を創れる人を
育てる

高3

多面的思考・自己決定・セルフコントロール
(③セルフコントロール・⑧クリティカルシンキング)

自分の考えを多面的に深め、より良い社会のために主体的に行動する姿勢を身につける。

高2

課題発見・対話力・協働力
(⑤パブリックリレーションズ・⑥コラボレーション)

社会の問題を見つけ、多様な意見を尊重しながら解決できる力を養う。

高1

自己理解・目標設定・セルフマネジメント
(①PDCA・②メタ認知能力)

自分の良さを理解し、社会貢献の目標を持ち、課題解決の基礎を学ぶ。

キーワード

探究

主体性

発信力

- 生徒一人ひとりが自分の「問い」を見つけることができる。
- 自らの「問い」を深め、自分の考えを伝えることができる。

中高共通の目標

社会とつながり、自ら学ぶ
姿勢を育てる

中学全体の目標

世界を知り、社会に向けて
発信できる人を育てる

中3

共生・他者理解・発信力
(④エンパシー・⑤パブリックリレーションズ)

共に生きる社会を目指し、自ら行動し、自分の考えを伝える力を育てる。

中2

主体性・情報分析・思考力
(⑧クリティカルシンキング・②メタ認知能力)

社会の出来事を主体的にとらえ、情報を読み解く力を伸ばす。

中1

課題発見・探究心・情報リテラシー
(⑦サイエンスリテラシー・⑨情報リテラシー)

社会で活躍する人と出会い、自分から学びを広げる力をつける。



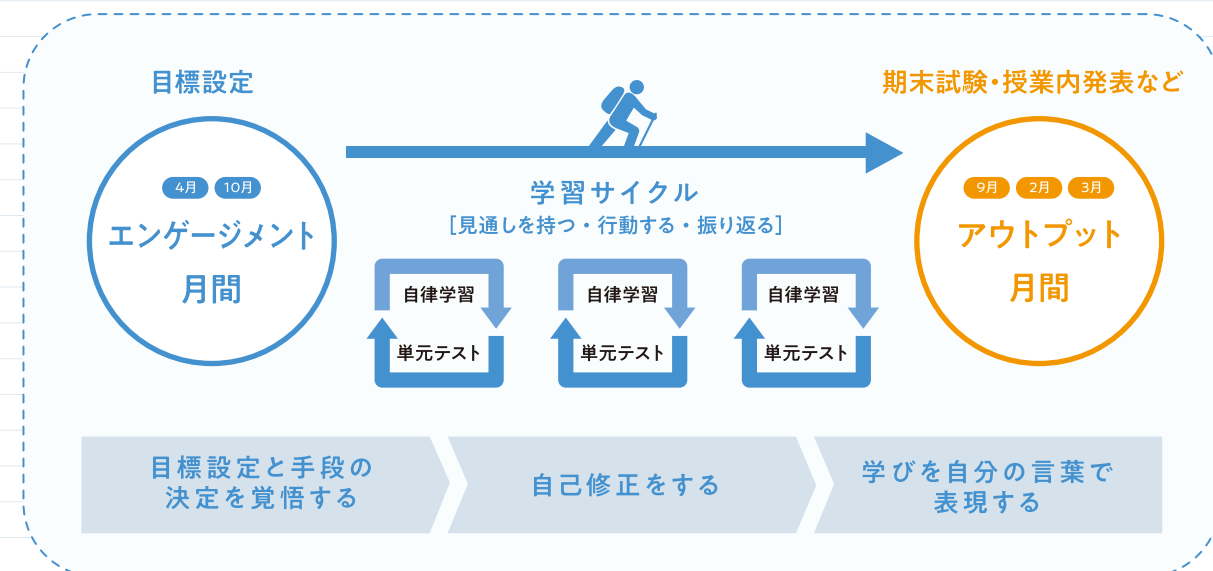
創英がはじめたこと #01 中 高

01
Action
junior-high school
high school

主体的に学ぶ授業

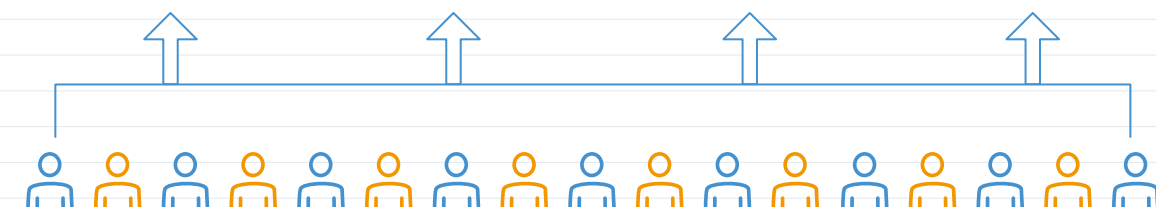
横浜創英が大切にしているのは「自ら学ぶ力」。
日々の授業でも目標を立て、自分にあった学び方を選びます。
学習サイクルを回し、成果を言葉で表現する。
日々の授業を主体的に学ぶスタイルへと仕組みを整えました。

主体的な学びを促す仕組み



創英の選択型自律学習（例）英語・中1～中3合同

中学の英語授業では週2回、クラス・学年を越えて生徒が「学び方」を選ぶ授業を行っています。



クラスにも学年にも縛られず

一人ひとりが求める「学び方」の授業を選択



生徒の自律的な 学校生活を支援する

誰もが最初から自律して学べるわけではありません。
大切なのは、うまくいかなかった経験を次の行動につなげていく力。
横浜創英では、中高すべての生徒を全教員で支える体制を整えています。
安心して失敗できる環境が、挑戦への新たな一歩を後押しします。

チーム担任制（中学）のイメージ



多様な大人との関わり

生徒たちの状況に応じて、チーム医療のように、必要な教員が関わります。
また生徒は、三者面談や個別の相談でも先生を選ぶことができます。
その過程で、問題解決の手段としての「相談する」というスキルを手に入れます。

コミュニケーションツール 「ツムギノ」の活用

遅刻・欠席の連絡だけでなく、成績管理なども含めた学校と生徒・保護者が密につながれる環境を整えています。情報共有を漏れなく、スムーズに行うことを大前提に、情報を活用し生徒に還元できる体制づくりを目指しています。

臨床心理学の専門家が 生徒から保護者までサポート

生徒の気持ちを受け止め、感情を整理する支援や保護者の方の、お子さまに関するお悩みについて、一緒に考える場所としてスクールカウンセラーが待機しています。専用のカウンセリングルームでご相談にも応じますので、是非ともお気軽にお立ち寄りください。

全ての生徒を全ての教員で支える

中学1年生から高校3年生まで、全ての学年主任、スクールカウンセラー、管理職が月2回の定期ミーティングを実施しています。学年の枠を越え、生徒一人ひとりを多面的に支援する仕組みです。これは中学校のチーム担任制をさらに発展させたもので、「誰ひとり取り残さない支援」を実現するための取り組みです。

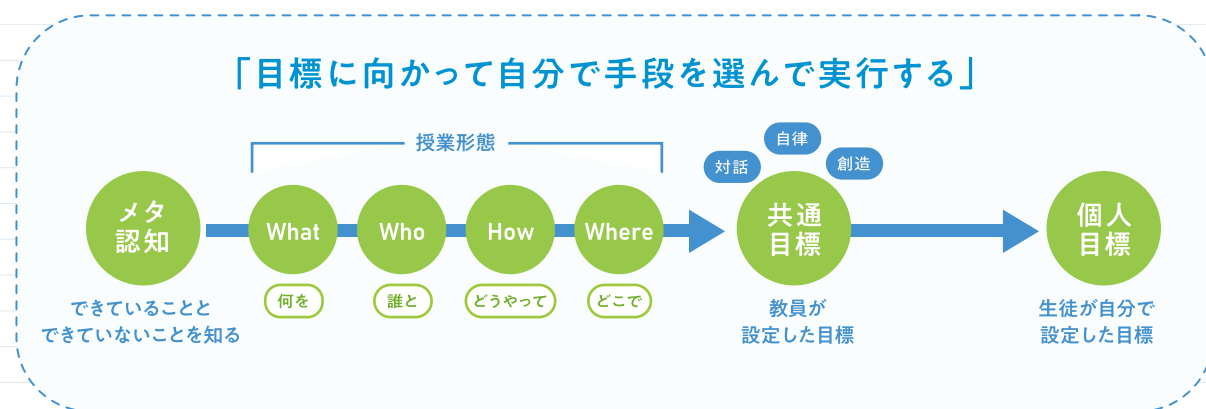




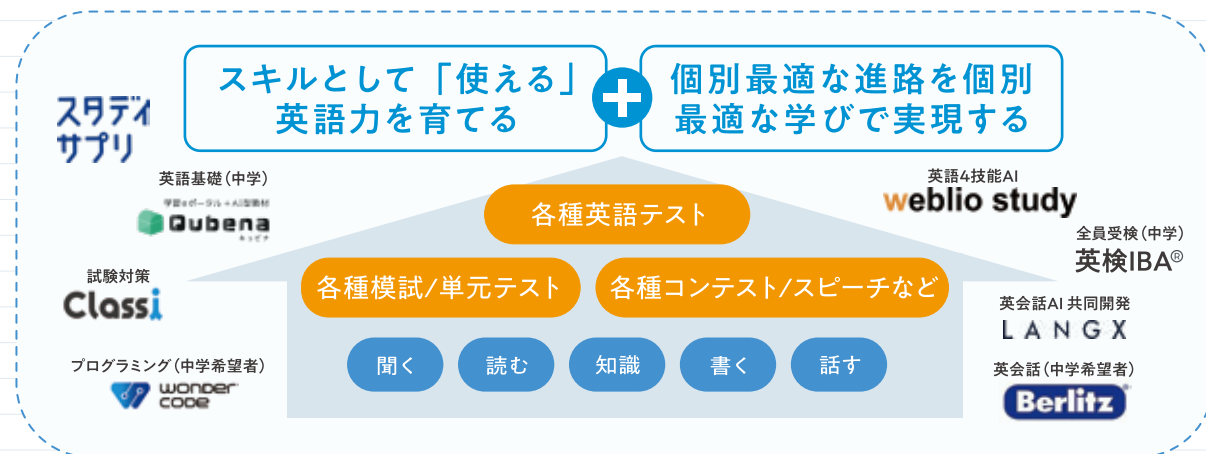
もう、「やらされる」 学びは終わりにしよう

自律学習とは、目標に向かって、自ら手段を選び、
学び続けること。横浜創英では、自律して学ぶ力を育てるカリキュラムと
支援体制を整えています。授業を創るのは生徒自身。
あなたはどんな未来に向かって、どんな学びを選びますか？

創英が考える自律学習



自律を支援する個別最適な学び(例)英語科



大学進学に向け自分の 強みを育てる

大学進学は将来の夢への通過点。テストや模試を
目標に、自分の得意分野を伸ばし、苦手な科目を
克服しながら、自分のペースで学習を進めます。

海外にも視野を 広げるイベント

留学経験者や専門家による講演会、夏休みの
海外スタディーツアー紹介などを通して、海外
進学や留学に関心のある生徒を応援します。

進路実績
について



卒業生インタビュー

01-interview

早稲田大学
文化構想学部進学
(一般選抜)
Y・Kさん



横浜創英には、勉強、部活、趣味など自分の向かう道に全力で進
んでいる生徒がいて、そんな生徒に寄り添い全力でサポートしてく
ださる先生がいます。高校3年生のクラスは、一般選抜と推薦志
望の生徒がどちらもいるクラスでした。様々な入試形態のメンバ
ーがいたこのクラスは、互いを尊重し、応援し、刺激しあって皆進路
実現に向けて全力を尽くしました。そんな恵まれた環境のおかげ
で受験も乗り越えることができました。横浜創英でのかけがえのな
い3年間を決して忘れません。

02-interview

立命館アジア太平洋大学
国際経営学部進学
(総合型選抜)
K・Kさん



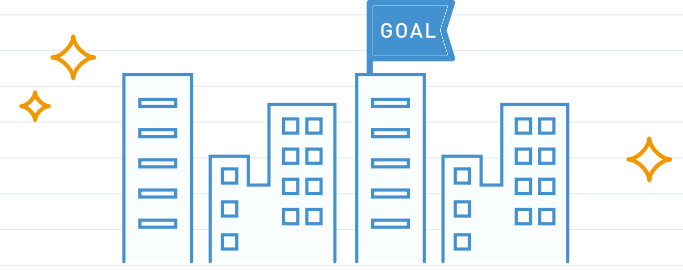
高校1年生の頃から総合型選抜を意識し、オーストラリアでのホ
ームステイやセブ島語学留学に参加。また、大学で4日間の特別授
業を体験し、将来の目標を明確にしました。横浜創英には留学や
高大連携プログラムの案内が多くあり、自分で選んで申し込みま
す。これらの経験が受験において大きな強みとなりました。大学へ
の提出書類は担任の先生に毎日添削を依頼し、面接練習は幅広い
教科の先生に協力いただきました。受験期は、挫けそうになる
度に支えてくれた先生や友人、家族への感謝が力となりました。



自分で決めるカリキュラム

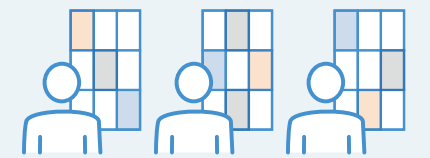
生徒の夢や希望は十人十色。だから時間割も一人ひとり違っていい。
横浜創英では、自由選択科目を大幅に拡大し、高校1年次後期から選択可能。
将来を見据えた“自分だけのカリキュラム”で進路実現を後押しします。
学びを自らデザインする力こそ、これからの社会を創る力になると信じて。

社会をデザインできる生徒を育成



社会的な課題を分析し、達成可能な未来図を描いて解決できる生徒。

自由選択科目の大幅な拡大



生徒一人ひとり多様な時間割(高校)

必修科目は最低限に、カリキュラムの大半を自由選択科目へ。自ら学びを選択することで、未来を主体的に考える力を醸成。

学年制を柔軟に運用



社会と同様、年齢でまとめない

社会に出て、同じ年齢の人とだけ仕事をするのではない。
だから学校でも、必ずしも学年ごとだけで授業をする必要はない。

	前期	後期	
高校3年生	自由選択中心	自由選択中心	卒業に必要な単位=74単位 必修科目単位=35単位 学校外における学修の単位認定=36単位まで
高校2年生	自由選択中心	自由選択中心	
高校1年生	必修修	必修修+自由選択	

※高校2年生と3年生の異学年混合授業です。

2025年度から二期制(半期ごとの単位認定)で 本格スタート

未来を創る自由選択科目

高校1年次後期から、生徒一人ひとりの将来や興味に合わせて自由に科目を選択できます。文系・理系などの枠組みにとらわれず、高校2年・3年前期には学年を越えて授業を行うため、幅広い視野と多様な考え方にふれながら、自分らしく学びを深めていくことができます。

カリキュラムマネジメント

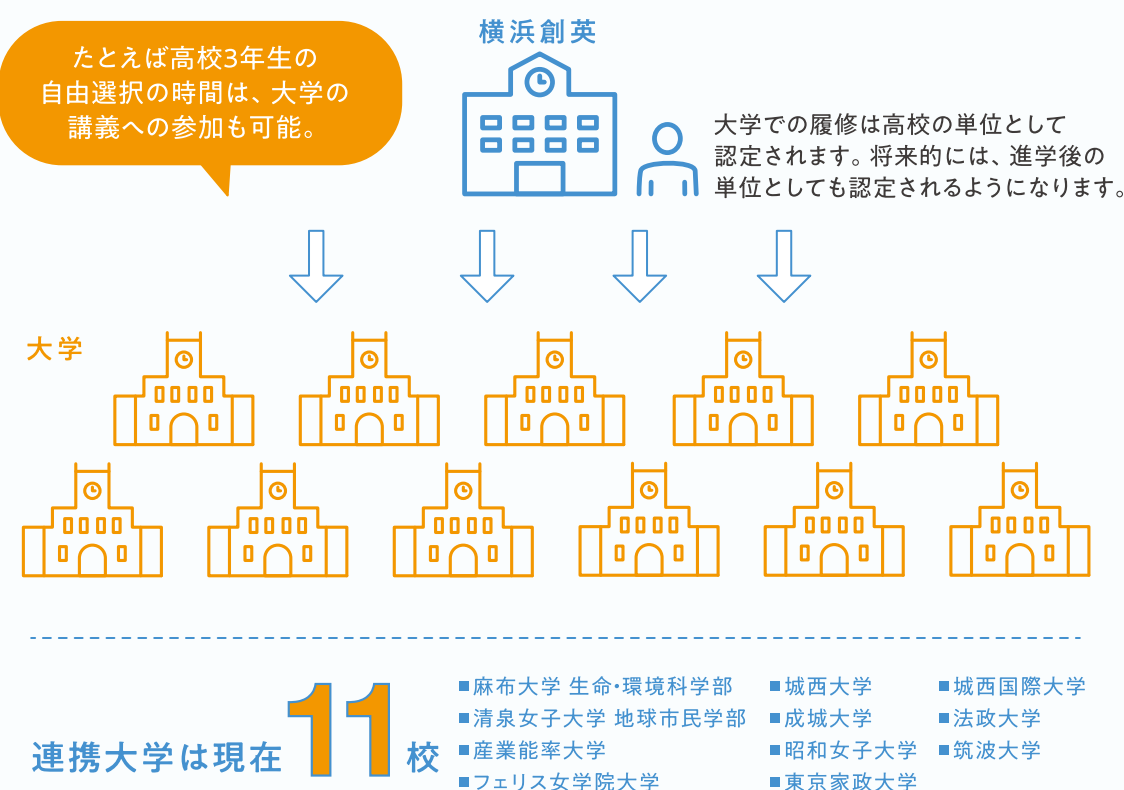
卒業後の進路や目標から逆算し、教員のガイダンスを受けながら、自分に最適な科目を選ぶことができます。大学入試制度や個々の関心に対応した、自分だけのオリジナルな時間割を作成し、夢や目標の実現を目指します。

社会とつながる高大連携

学校の可能性を学校という枠に、はめてしまってはもったいない。
横浜創英では11の大学と連携し、学びの世界を広げています。
クラスや学年、さらには学校を超えて自分の可能性にまっすぐ向き合える環境。
強みを専門的に伸ばす学びが、未来への扉を開いていきます。



自分の強みを活かした、より専門性の高い学びを実現



PICK UP PROGRAM (2024年度実施例)

■ 法政大学



アントレプレナーサマーキャンプ
夏期集中型の2日間限定のビジネスプラン作成講座です。大学生の司会のもとで、他校の高校生とともに実際のビジネスプランを考え、コンテストに出場しました。

■ 法政大学



社会連携フィールドワーク
夏期集中フィールドワーク型プログラム。2024年度のテーマは、「自然災害発生時の避難生活マネジメント」。都市直下型地震発生時の帰宅困難者への対応について大学生と学びました。

■ 産業能率大学



社会を変えるマーケティング
平日放課後6回と夏期休業中の2日間で行われる授業。大学生に交じって、社会課題解決に向けたアクションなど、専門的なマーケティングについて実践的に学びました。

■ 筑波大学



科学体験プログラム
3日間に及ぶ本格的な実験観察の授業です。医療分野の観察、解剖など大学レベルの専門的な実習や研究を教授の指導のもと、体験しました。

■ 城西国際大学



映像分野体験講座
メディアに対する知見を深められる体験型の講座。与えられたテーマに沿ったドラマ撮影を実際のスタジオを活用して進めます。大学生から撮影方法を学びながら、撮影しました。

■ フェリス女学院大学



前期科目等履修授業
大学で行われている様々な授業を履修することができます。高校では普段学ばない専門的な知識を学びながら、大学生に交じってディスカッションやプレゼンを行いました。

創英の探究活動

横浜創英が目指すのは、新しい時代の、新しい教育。そのキーワードは、「自律・対話・創造」の3つのコンピテンシー。これまでにない新しい力を育むため、生きた知識を吸収し、実践に移すプログラムを実施しています。

プロジェクトフェスタ 中高

異なる学年の生徒から外部の大人や専門家まで、訪れるゲストに探究を発表する場がプロジェクトフェスタです。「創造」する力を育てるには表現することが不可欠だからこそ、自分の探究を文章にしたり、絵や図にしたりすることを繰り返しながら、サイエンスリテラシー、クリティカルシンキング、情報リテラシーのスキルを身につけていくことを目指します。

■ テーマ設定

サイエンスコースは中学1年生の後期(1~2月)に自身の探究テーマを設定します。一方、グローバルコースでは設定されたテーマに取り組みます。両コースとも対話を大切にしながら探究のステップを踏んでいきます。



■ データサイエンスの基礎

探究を進めるには、正しいデータの取り扱いが大切です。文献データベースの活用法や統計データの分析・処理法の基礎を習得しながら、データに基づいた科学の重要性を学びます。



■ 異分野コラボレーション

それぞれが持つ異なるテーマ同士を融合させることで、新たな「何か」を創造する活動に取り組みます。一見すると遠回りに見えるアプローチでも、自分にはない新たな発想が、価値の創造につながることも多々あります。



■ サイエンスコミュニケーション

探究活動の進捗や目標・課題を共有し合うことで、自身をメタ認知します。また、年間で複数行うプレゼンテーションは、その発表形式も多様。伝え方を考えることでサイエンスリテラシーの向上につなげていきます。



「自律・対話・創造」の力を養う総合探究授業 中高

横浜創英の建学の精神は「『考えて行動のできる人』の育成」です。そして、卒業までに3つのコンピテンシー『自律・対話・創造』を養えるように、9つのスキルを身につけられる総合探究の授業を実施しています。

3つのコンピテンシーと9つのスキルについて



ミライ探究 企業・大学訪問 中

横浜創英では、大学・企業訪問を通じて、社会で活躍するロールモデルとなる大人と出会い、理想の自分や将来の姿を前向きに考える機会を作っています。自分の将来像を明確に持ち、目的を掲げて「今」自律して行動する指針を持つことが重要です。訪問後は、学んだ内容を資料にまとめ、発表する場を設けます。

■ 2024年度訪問先

教育機関	企業等
株式会社横浜銀行	株式会社リクルート
株式会社時事通信ブランドスタジオ	まなびDivision
株式会社ファンケル	(株)TBSホールディングス
株式会社エクサ	ソフトバンク株式会社
株式会社COMPASS(キュービナ)	
タイガーマップ株式会社	
株式会社MIXI	
株式会社エキュメノボリス	
Kyndryl株式会社	
セガサミーホールディングス株式会社	
株式会社島津製作所	
朝日航洋株式会社	
パーソルクロステクノロジー株式会社	
株式会社日立システムズ	
クラシエ株式会社	
株式会社プラスワン教育	
三井住友建設株式会社	
横浜市総合保健医療財団 など	



中学の探究授業

GOAL 『世界を知り、社会の一員として発信することができる人』

CONTENTS

サイエンス・グローバル両コースとも、中学1年で、社会の一線で活躍するトップランナーによる授業を通して、たくさんのかっこいい大人に出会います。どんな大人になりたいか、どんな学びをしたいかを問いながら、探究活動を進め、プロジェクトフェスタで成果を発表します。

高校の探究授業

GOAL 『自分を律し、他者と協力しながら、より良い世界を創造する人』

CONTENTS

全てのコースで「自分とは何か」「どんな人生を送りたいか」からスタートし、自分の興味関心や強みを大切に探究活動を行います。プロジェクトフェスタでの発表に加え、外部の大会への参加、大学や企業と協働し、社会に貢献する機会を大切にしています。

コースごとの特徴

サイエンスコース

身近な疑問や社会課題に対してテーマを設定し学んでいく「問題発見解決型」の探究学習を行います。仮説、検証の段階で科学的思考や情報リテラシーを重視します。

グローバルコース

設定された課題に対して、解決策を探る、「課題設定解決型」の探究学習を行います。探究の過程で、世界に視野を広げ、多様性を尊重することを重視します。

特進フロンティアコース

高校1年で、探究の学び方を身につけ、高校2年以降で対話を重視しながら解決策を探る「対話創造解決型」の探究学習を行います。これからの社会を創造する視点を重視します。



外部との連携

各界の「トッランナー」たちとの連携 中 高

#01 パフォーミングアーティスト サクラ カツミさん

人生を自分で作るマインドを

日本のパフォーミングアーティスト・振付師で国内外での講演活動も行い、世界的に活躍しているサクラさん。学生時代の内向的なマインドから、ポジティブに生きるようになった秘密を紐解いてお話してくださいました。人が変わるために必要となる大切なキーワードは、「自分と比べる」「数字に重きを置かない」「熱中する」。その言葉は生徒たちの胸に深く刺さり、自分の未来を見つめ直すきっかけとなりました。



#02 植松電機社長 植松 努さん

思うは招く～夢を叶える秘訣～

植松電機でロケット開発も手がける植松さん。「人は足りないからこそ助け合える。足りないことをダメだと思わないでください。」という言葉で、「苦手なもの」のイメージが変わっていきます。「一人だったら、いくら頑張っても一人分。助け合ったら一人ではできなかったことができるようになるよ。」と苦手なものを乗り越える秘訣から、「夢は人に話せば話すほど実現につながるよ。」と将来の夢までつながっていく時間になりました。

#03 応用神経科学者 青砥 瑞人さん

脳を知ることで自分の可能性を伸ばす

「三日坊主」は脳の特性で誰でもなるんだ。そう知るだけで、少し安心しますよね。そこから、どうやる気を出すか。脳科学の観点から紐解いていきます。やる気に関わるドーパミンは「好きなことに熱中する」「未知のものにワクワクする」時に分泌されるといいます。だったら、好きなこと、未知のものに挑戦する時間を増やせばいい。これからの学びのヒントをいただきました。



#04 教育YouTuber 葉一さん

自分の説明書は自分で作るしかない

動画で5教科の基礎を学べる「とある男が授業をしてみた」で人気のYouTuber葉一(はいち)さん。今は、解説動画にとどまらず、勉強法や子どもたちの悩みに答える動画も配信しています。横浜創英の自律学習に葉一さんの動画は欠かせません。「勉強の悩みを解決するためにも、自分の強みを『説明書』として表現しよう。そして、たくさんの強みを掛け算して、最強の自分を作っていこう。」と力強いメッセージをいただきました。

学校は社会とつながっています。だからこそ、ロールモデルとなる大人に出会ったり、多様な価値観の中で物事を考えたりすることは重要なことです。「社会とのつながり」を重視した取り組みを横浜創英は実践しています。

チャレンジウィーク 中 高

2月の最初の1週間は「チャレンジウィーク」。中学入試期間中のため通常授業が行われないこの期間を利用し、生徒一人ひとりが「普段できないことにチャレンジする」特別な1週間です。スタディーツアーへの参加、博物館や美術館めぐり、探究活動をさらに深めるなど、忙しい日々ではなかなか取り組めないことにじっくりと向き合います。



大口通商店街との商品開発プロジェクト 中 高

地域や社会とつながりながら、課題解決や価値創造に挑戦する企画として、近隣にある大口通商店街での納涼夜店に高校生有志が「SOEI焼きそば」を出店・販売。商店街事務所での参加者会議や食材の調達、鉄板のレンタルに至るまで、全て生徒が主体となって準備を進めました。試作・試食・調整を繰り返しながら商品開発をするなど、生徒一人ひとりが試行錯誤する過程で、実学的な学びが実現できました。



英語探究発表 高

高校生の選択科目である英語探究では、社会に出た時に役立つ英語力の育成を目指しています。困っている人をHappyにすることを目標とした英語のプレゼンテーションを実施しており、社会で実際に活躍している社会人にアドバイスをしていただきます。旅行会社の方や、発展途上国支援を行っている方、イベントの企画運営をしている方などバラエティ豊かな方々から協力を得ています。



コンピテンシーベースの研修

(創英の3つのコンピテンシーと9つのスキルを育てる研修)

多様な価値観があふれ、答えのない時代と呼ばれる現代、そしてこれからの社会。求められるのは、ひとつの正解に向かって突き進むのではなく、新しい答えを導き出す力です。横浜創英では、対話によってお互いの共通目的に向けて合意し、トラブルを乗り越えていく力を身につけるためのプログラム「4C・コラボレーション」を実施します。



4Cスキル研修 中

4Cスキル研修では、目の前の課題や失敗をどのように乗り越えていくかを考え、ディスカッションし、課題を可能性と捉える思考法を身につけていくと同時に、様々な対話スキルを学んでいきます。他者との対話、意見の食い違いも糧にしながら、生き抜くことができる力を身につけます。

PICK UP

4Cとは？



- Communicationコミュニケーション(対話)
 - Collaborationコラボレーション(協力)
 - Critical thinkingクリティカルシンキング(分析的思考)
 - Creativityクリエイティビティ(創造)
- の4つのスキルを身につけていきます。

トライアル&エラー



マンダラートやマインドマップ、ブレインストーミングなどの手法を学び、チームで合意形成を行っていきます。チームに一人ずつファシリテーターとして大学生が付き、サポートを受けながら進みます。

ミッション



研修中は変革を起こす“イノベーター”として、2024年度は「横浜創英生だからこそできる、見たこともない聞いたこともない学校紹介を企画せよ!」というミッションに取り組み、最終日にプレゼンテーションを行いました。

リフレクション



チームメンバーの素敵だった部分や、伸びしろを伝える「グッドモット」のワークを行い、コメントを伝え合います。最後に、これから自分がどうなりたいか「新しい自分」について考えます。

4C・コラボレーションウィーク(合科探究型授業) 高

40名を超える教員が繰り出す、20を超えるミッション。1週間かけ、それぞれ与えられたミッションに挑み、最終日にプレゼンテーションを行います。外部ゲストの大人の力も借りながら、ひとつの教科の偏った知識だけでは解決できない難問に取り組み、新しい発想を生み出します。

PICK UP

数学 体育

スポーツ×データ ～データから自分の癖を知ろう～



自ら身体を動かしながら、専門のスポーツや好きなスポーツの動作における速度、角度、距離の数値をデータ化し、自分の動きの癖を知ろう!「肘の角度をこうしたほうがいい」「こう手を返したほうがいい」などの抽象的な動作を数値化し、スポーツの見方を変えてみました。

国語 理科

EARTH WALKER 気象学×地学×文学×AI



都市と起業をテーマに、新たなビジネスモデルを考えました。日本の8大都市以外の都市を9番目にするための事業を起こすために、まずは都市を数値的な視点、文化的な視点から分析します。最後はプレゼンの他に、新事業のPRポスターも作成しました。

英語 国語

「お守り図鑑」 フォトブックを作ろう



「人生」という旅をするうえで、お守りとなるような大切なことばに写真を添えて、冊子を作り、たくさんの人に届けませんか?翻訳をするには、世界観やメッセージを伝える工夫が必要です。様々な文法や語彙と向き合い、宝物となる言葉をまとめた「お守り図鑑」を作りました。

英語 家庭科

Welcome to 'SOEI Boys and Girls Collection'! ～サステナブル・ファッションが地球を救う～



SDGsを通して社会問題の解決を目指しました。Sustainable Fashionの世界を英語で学び、家にある着られなくなった服を用いて、ソーイング(裁縫)の技術でリメイクします。最後は、リメイク作品を着用しながら英語で発信する「リメイク・ファッション・ショー」を開催しました。

企画型研修旅行・選択型旅行 中高

「行きたい場所」で、もっとワクワクする経験を。青春時代の大切な思い出を自身の手でつくるため、生徒がプランづくりから関わる研修旅行。その準備さえも「学びの場」として楽しめるのが横浜創英です。



PICK UP

旅行代理店との折衝 中高

各コースの旅行委員が、旅行代理店に直接交渉して当日の計画を立てます。SNSツールを使って、積極的に連絡を取ります。他の生徒の要望を最大限に実現させるために、責任を持って取り組みます。



中学3年研修旅行 中

生徒が旅行会社と直接連絡を取り合って旅行の企画をします。約1年間の準備期間を経て、2024年度は関西と広島の両方に泊まるプランになりました。



6か所に分かれる研修旅行 高

2024年度の高校2年は、北海道・東北・関西・四国・九州・沖縄の6コースに分かれて研修旅行を行いました。5月にコース希望調査を行い、6月から半年間かけて準備をします。「自分で決めた」から、当事者意識を持って参加します。



スタディーツアー 中高

2024年度は8月に中学生と高校生が希望制で尾瀬へ研修旅行に行きました。自然に囲まれながら、村の抱える課題に対してアイデアを出すことで、SDGsの多様な面について学びました。歌舞伎体験など、歴史や文化に触れる活動もしました。



STUDENT's VOICE

参加者全員で企画した、学びと楽しさが両立する東北旅行。

私が企画したのは東北コース。歴史あるお寺やお城巡りを取り入れ、観光の楽しさと学びが両立する旅になるよう工夫しました。参加者の意見をより多く反映するために、コミュニケーションを密に取りながら準備を進めました。最後に友人たちから「このコースに参加して良かった」と声をかけてもらったことは、一生忘れられない思い出です。



高校3年 M-Uさん



Produced by Students

生徒がつくる学校行事

横浜創英の学校行事は、すべて生徒主体。なぜやるのか、どうするのか。目的も手段も、生徒が自ら考えながら対話と協働で、それぞれの思い出をつくり上げます。



イベントスケジュール 〈2025年度予定〉

- | | |
|-----|---|
| 4月 | 入学式 / フレッシュマンキャンプ (高1) /
フレッシュマンjr. キャンプ (中1) /
模擬試験 / 保護者会 (中2・3、高2・3) |
| 5月 | 保護者会 (中1、高1) |
| 6月 | 体育祭 / 二者・三者面談 |
| 7月 | 生徒総会 / 模擬試験 |
| 8月 | 夏期講座 |
| 9月 | 創英祭 / 前期期末試験
4Cスキル研修 (中2) / 模擬試験 |
| 10月 | 職業別講話 (高1) / 保護者会 (中3、高1) |
| 11月 | 企業大学訪問 (中1) / 二者面談週間 /
模擬試験 / 保護者会 (中1・中2) |
| 12月 | 研修旅行 (中3、高2) /
冬期講座 / 学年合同対話授業 (中1～高2) |
| 1月 | 共通テストプレテスト (高3) / 模擬試験 (中1・2、高1・2)
4Cコラボレーションウィーク (高1・高2) |
| 2月 | 卒業記念講演 (高3) /
チャレンジウィーク |
| 3月 | プロジェクトフェスタ / 卒業式 / 春期講座 /
後期期末試験 |

※変更する可能性があります。

PICK UP

創英祭



中学・高校ともに多くの保護者の方、一般のお客様にご来校いただき大変活気があります。様々な団体が、個性あふれる展示や演技を披露します。



体育祭



体育祭も、生徒が主体となって企画・運営します。生徒会や実行委員の生徒たちを中心に、競技の内容からルールまで決めます。中学・高校全体で、大いに盛り上がります。



STUDENT's VOICE

満足度の高い行事を目指して。

他学年との交流を深めるため、中学生全体で楽しめるレクリエーションを企画しました。前年度の反省を活かし、より満足度の高い内容を目指しましたが、当日はトラブルが発生。それでも役員や先生方と連携し、臨機応変に対応しました。帰りに「楽しかった!」という声を聞いた時の達成感は忘れられません。



中学3年 生徒会 C・Yさん



Produced by Students

生徒が主役の部活動

誰に強制されるでもなく、自ら選び、参加するのが部活動。競技の成績や結果はもちろん、どんな姿勢で取り組むかも大切です。



中・高体育部

- 卓球部 ●バスケットボール部 ●ソフトテニス部
- ダンス部 ●ワンダーフォーゲル部 ●バドミントン部
- ハンドボール部 ●剣道部 ●バレーボール部(女子)
- サッカー部(男子)
- バトン部 [Power's CanCan] (中学女子)
- バトン部 [BRIGHTS] (高校)

※各部活動についてはホームページにてご確認ください。

中・高文化部

- 文芸部 ●園芸部 ●ESS部 ●イラスト部
- 造形アート部 ●調理部 ●音楽部
- 児童文化部 ●吹奏楽部 ●書道部
- 放送部 ●競技かるた部 ●茶道部
- フォトアート部 ●将棋部 ●科学部
- 軽音楽部 ●パソコン部

中学部活動
について



高校部活動
について



生徒が決める生徒会・委員会活動

生徒がやることは生徒が決める。「やってみたい」を、「どうしたらできるだろう」と自主的な対話を通して、実現に向かいます。



生徒会

2024年度は、高校2年生7名、高校1年生6名、中学3年生3名、中学2年生4名、中学1年生3名の、計23名で活動しました。各種学校行事はもちろんのこと、横浜創英では入学式・卒業式などの式典までも生徒会が中心となって企画しています。行事の実行委員の生徒や部活動の生徒とも連携しながら、大きな行事の運営を達成できた時はとてもやりがいがあり、「学校を自分たちで作っている」という実感があります。横浜創英の生徒会で、一緒にオリジナルの青春を作りましょう!

委員会

現在は、以下のような委員会があります。どの委員会も日々の業務や行事の係などに対して責任を持って取り組みます。学校生活の円滑な運営のために欠かせない活動です。

- | | | |
|----------|-------|---------|
| 学級委員会 | 保健委員会 | 選挙管理委員会 |
| 生活委員会 | 図書委員会 | 体育委員会 |
| 美化委員会 | 新聞委員会 | 福祉委員会 |
| 創英祭実行委員会 | | |



実行委員会

体育委員・創英祭実行委員は、クラスごとではなく学年をまたいで募集し、それぞれ年に一度の体育祭、創英祭の企画・運営に携わります。行事後はしっかりと振り返りをし、次年度に向けて前年度から準備を進めることで年を追うごとにパワーアップしています。また、体育委員は、高校球技大会や、学年ごとの体育的行事でも活躍しています。「こんな行事にしたい!」が叶うのが横浜創英です。



STUDENT's VOICE

主役を輝かせる舞台を創り上げた。

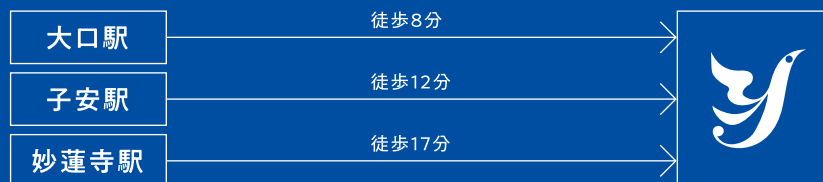
放送部では、大会に向けた作品制作だけでなく、創英祭や体育祭の照明やアナウンスなど、イベントを裏方として支えています。創英祭では、パフォーマンスが最大限に引き立つ演出を追求。公演後、感謝の言葉をもらった時は、本当に嬉しかったです。舞台を支える大きな役割の担い手として、これからも観る人の心に残る演出を目指していきます!



高校3年 放送部 K・Sさん



ACCESS



大船駅〔JR東海道本線16分〕→横浜駅〔JR横浜線6分〕→大口駅

大和駅〔相鉄本線急行21分〕→横浜駅〔JR横浜線6分〕→大口駅

川崎駅〔JR京浜東北線12分〕→東神奈川駅〔JR横浜線3分〕→大口駅

町田駅〔JR横浜線26分〕→大口駅

上大岡駅〔京浜急行本線13分〕→横浜駅〔京浜急行本線6分〕→子安駅

武蔵小杉駅〔東急東横線13分〕→妙蓮寺駅

EVENT

学校説明会の詳細・ご予約方法、
その他のイベントについては、
本校ホームページをご覧ください。



本校のホームページ上で、
詳しい募集要項を公開しています。

中学



高校



本校のホームページ上で、
「校長発信」を公開しています。

校長 Message



校長 Information



横浜創英中学・高等学校

〒221-0004

横浜市神奈川区西大口28番地

TEL:045-421-3121

<https://www.soiei.ed.jp/>

